

年 組 名前：

「おもちゃ病院」を再開

都留の団体 コロナで7ヵ月ぶり



都留市を拠点に壊れた遊び道具を修理するボランティア団体「おもちゃ病院ムササビ」は19日、同市まちづくり交流センターで故障したおもちゃを無料で直す「おもちゃ病院」を再開した。新型コロナウイルスの影響で休止が続き、再開は7ヵ月ぶり。

今回は感染予防に配慮し、通常より時間を短縮して実施。2組から計6点のおもちゃが持ち込まれ、会員6人へ対応した。部品が破損したり、電気回路の接触が悪くなっ

たりして動かなくなった、おもちゃのピアノやメリーゴランド、車などをドライバーやはんだを使って修理した。

上野原市上野原から持ち込んだ長田信子さん(68)は「息子が子どもの時のおもちゃがずっと捨てられなかった。これで孫にも遊んでもらいたい」と笑顔を見せた。

同団体は昨年3月に市内在住で製造業などに勤めた経験がある60〜70代の男性10人で活動を開始。毎月1回おもちゃ

持ち込まれたおもちゃを修理する会員11都留市まちづくり交流センター
や病院を開設してきた。
今後は当面、毎月第3土曜日午前10時から2時間、同センターで開催する予定。関戸峰雄代表(78)は「修理を通じて会員同士や持ち込んでくれた住民同士の交流につなげたい」と話している。
〈秋田大揮〉

(2020年9月21日付 山梨日日新聞 18面)

【記事を先生に読んでもらうか、

自分で読んだ後、問1～2に答えてください】

問1

「おもちゃ病院」には、どんなおもちゃが持ち込まれますか。

問2

あなたが持っているおもちゃで、一番好きなおもちゃは何ですか。その絵も描いてください。

[好きなおもちゃ]